



創立：1980年(昭和55年)1月10日  
 会長：岩田 修司  
 幹事：堀 慎治  
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生  
 例会日：毎週木曜日PM12:30～  
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3  
 ヒルトン名古屋910号  
 TEL：052-211-3803  
 FAX：052-211-2623  
 MAIL：2760.nagoya@mizuho-rc.jp  
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

# WEEKLY REPORT

## ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 Light up Rotary  
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度  
 国際ロータリー第2760地区  
 ガバナーのテーマ  
 集まるう・語るう・楽しもう

2014～2014年度  
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ  
 感謝の気持ちを持って、  
 ロータリーライフを楽しもう

## 第1659回例会

～会員増強および拡大月間～  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2014年8月7日(木) 晴 第6回

司会：田中宏会場委員  
 斉唱：「君が代」「奉仕の理想」  
 ゲスト：全日本かるた協会理事審査部長 加藤誠さん  
 新海真知さん

### 会長挨拶

岩田修司会長

明日の9日から、夏の高校野球が甲子園球場で始まりますが、皆さんスポーツの光と影というテレビ番組をご存知でしょうか？

今から22,23年前、ヤンキースの松井秀喜選手が、高校球児として甲子園大会に出た時の話でございます。当時、石川県の星稜高校では左の松井に右の月岩と言われる程お互いライバルとして競い合っておりました。甲子園でも4番松井、5番月岩として大会に臨んだわけでございます。皆さん記憶にもあると思いますが、松井選手には5打席連続敬遠でした。なんとノーアウトからでも敬遠という前代未聞の出来事が起こったわけであります。



高校野球の精神として、いいのか悪いのかという議論はありますが、対戦相手の高知県明德義塾高校は最初から松井は全打席で敬遠で、5番の月岩と勝負しようと決めていたようで、月岩の弱点を徹底的に研究したようでございます。結果、月岩は5打席ノーヒットでありました。残念ながら星稜高校は敗退したわけですが、地元に戻ったら、いつの間にか打てなかった人と言うレッテルを貼られ、嫌がらせの電話や、ポストには心無いはずの手紙などのきつい仕打ちがあったそうでございます。そして追い打ちをかけたのが、内定をもらっていた大学に野球の練習に行った時、先輩から甲子園で打てなかった事をからかわれ、ついに暴力を振るってしまい、大学は内定取り消しとなり、野球を辞めることになったわけでございます。

それからは、野球も周囲の人達との連絡もシャットアウトして、一生懸命働いたそうですが、何をやってもうまくいかず、もうどうなってもいいやと思っていたそうです。当然、野球なんか見たくもない日々が続いたわけですが、ある時、何気にテレビをつけたら松井選手のヤンキースでのデビュー戦だったそうです。松井の前の打者が敬遠され、松井との勝負という場面だったようで、甲子園でのあの時の自分と同じだと思ったそうです。松井は、満塁ホームランを打ち、メジャーリーグでもスターの座についてわけでございますが、それを見ていて、松井選手の偉大さに気づかされると同時に、自分自身も苦難を乗り越えようとせずに、嫌なことから逃げているばかりではないかを気づいたそうでございます。打てなかったのも自分の弱さであるし、今では松井選手の背番号55の次の番号という意味で、Kushi56(クシコロ)という名前の串屋さんを経営しているそうでございます。

人間は、前向きに生きていけば道は開けるという一つの例じゃないでしょうか。

### ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- ・8月22日は私の誕生日です。 **山田 鎮浩さん**
- ・妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。 **鈴木 圓三さん**
- ・6月13日は妻の誕生日でした。 **江口 金満さん**
- ・加藤さん、卓話をありがとうございます。 **高木 元明さん**

- ・先週の土曜日、ベジファームに草取りに行く予定でしたが、体調を崩し突然キャンセルしてしまいました。すみません。 **平野 好道さん**
- ・上着を忘れました。暑さのせい？ **天野 正明さん**
- ・先週は幹事慰労会ありがとうございました。 **亀井 直人さん**
- ・今晚の会員増強委員会、よろしく願います。 **鈴木 淑久さん**
- ・暑中お見舞い申し上げます。 **酒井 俊光さん**
- ・暑中お見舞い申し上げます。 **山本 英雄さん**

### 出席報告

山本英雄出席委員長

会員63名 出席41名 (出席計算人数46名)

出席率 77.4% 7月31日は補填により 92.5%

### 幹事報告

堀慎治幹事

- ・本日13:40より、ヒルトン名古屋9階にて第2回理事会を行います。
- ・本日18:00より、会員増強プロジェクトを木曾路錦店にて行います。
- ・次週8月14日(木)はR規定に基づき休会いたします。
- ・事務局は8月11日(月)～15日(金)までお盆休みを頂きます。
- ・WWFのチケットを新たに必要の方は今月中に必要な枚数分のお金を事務局までお持ち下さい。

### 大口寄付認証式

近藤雄亮さんがR財団に大口寄付をされ、記念品のクリスタル、バッジ等が岩田会長より披露されました。



### 卓話

全日本かるた協会理事審査部長 加藤誠さん

#### 小倉百人一首競技かるたの世界

本日は、最近アニメ「ちはやふる」によって以前と比較しますと随分メジャーになった感のある「小倉百人一首競技かるた」についてお話しさせていただきます。

みなさんは「競技かるた」を、正月のテレビニュースなどで一度は見たことがあると思いますが、どうしてあんなに速くとれるのか、一体どういうルールでやっているのか、等普段あまり耳にすることがないと思われる「競技かるた」の世界の一端とその魅力についてお話ししたいと思います。

#### 1. 競技かるたの実際

一体どうやってあんなに早く取れるのか、を解説させていただきます。

##### ①取札の位置はあらかじめ暗記している(探さない)

競技開始前に15分間の暗記時間があり、この時間に場にある札の位置、第1音が同じ札がどのように配置されているか、ない札は何かを正確に暗記します。場の50枚の札を写真にとるように頭に焼き付けるイメージです。ですから、選手は、目をつぶってもすべてどの札がどこにあるかを諳んじることが出来ます。また、競技が進行していく中で札の位置が刻々と変わっていきませんが、変化した位置についてもその都度確認し、常に最新の状態でどの札がどこにあるか、を徹底的に暗記し直していきます。

##### ②「決まり字」で聞き分け取る

百人一首には、上の句の何文字まで聞けば取札である下の句が特定でき



るか、という「決まり字」がそれぞれの歌にあります。選手はその決まり字で100首を正確に覚え、決まり字を聞いた瞬間に取るといった動作をしています。因みに、第1音で取札を特定できる「1字決まり」は、いわゆる「むすめふさぼせ」で始まる7首です。以下、「2字決まり」は42首、「3字決まり」7首、「4字決まり」6首、「5字決まり」2首、「6字決まり」6首あります。第1音を聞くや否や札を取っているように見えるかもしれませんが、最大6音まで聞いて取っている札もあるということです。

しかし、競技が進行していくなかで、「決まり字」は刻々と変化していきます。例えば、「うら」の札は、2字決まりですが、「うか」という歌が読まれると、百首の中には他に「う」で始まる歌はないので、以後は「う」と読まれたら特定される1字決まりに変化します。このような決まり字の変化は1首読まれる毎に刻々と変化していきますので、選手は都度暗記し直していきます。例えば、4字決まりの歌「なにわが」は、3字決まり、2字決まり、1字決まりと決まり字が3回変化するようなこともあります。しんどいですが、地道に1首ずつ正確に暗記し直さないと最速での取りができません。

### ③半音で聞き分ける

①②は如何に暗記していくか、ということでしたが、次のポイントは決まり字の前の半音を聞き分ける、ということです。例えば、「あきの」という3字決まりがありますが、決まり字は3音目の「の」を聞けば取れるわけですが、競技かるたの選手は、「の」が読まれたかどうか、という一瞬を聞き分けて取りにいけます。ローマ字で書くとわかると思いますが、'akino'ですが、同じあきで始まる歌は「あきか」「akika」です。従って、「no」と聞かなくても「n」を聞き取った瞬間に「あきの」を取れます。このように常に半音を聞き分けて取る、という取り方をしています。3つ目のポイントは音感の世界で、これはいわゆる耳の良さ、ということで個人差あるのですが、これも練習を重ねることによって、それぞれのレベルでの聞き分けができるようになります。

### ④取札を払う（飛ばす）

映像で見られたとおり、競技かるたではほとんどは取札を払って取ります。競技かるたでは一瞬のスピードを競いますので、押さえにくいとどうしても減速してしまうので、取札を払って取るようになります。

取札を払うのも結構な運動能力を要するもので、この運動能力も速く取る大きなポイントになります。従って、選手は皆、野球の素振りと同じような払い手の練習を欠かしません。

### ⑤第1音に全神経を集中する

以上の4点をマスターした上で実際の競技では、上の句の第1音を聞き取ることに全神経を集中させます。第1音で取れる札は直ちに取札を払いに行きますし、そうでない場合はあらかじめ準備したシミュレーションに従い、次の音が発せられるまでどのように対応するか、を一瞬の間に判断します。従って、競技かるたの大会では、読み手が前の下の句から読み始めるのですが、その下の句の最後の2音が延ばされ(余韻といいます)、次の上の句の第1音が読まれるまでの1秒間は、会場全体が誰もいないかのような「静寂の世界」に入ります。その直後、取札が飛ばされたり選手が勢いづいた手で畳をたたき、といった「動の世界」が現れます。

## 2. 競技かるたに必要な能力(競技かるたで培われる能力)

競技かるたで上級者というレベルになるには、以上のようなことを身につける必要があります。競技かるたの練習を重ねていけば、ある程度は自然に身に付く能力ですが、より強くなる、上級レベルになるためには、以下の能力が必要と考えます。

### ①記憶力・暗記力

### ②音感…「感じ」がいい、悪い、という言い方をします

### ③瞬発力・運動能力

### ④集中力

その他、全国大会では、1試合あたり90分程度かかり、入賞するには4試合は勝ち進む必要があり、体力も重要な要素になります。

## 3. 競技かるたのルール

(1)並べる札は50枚、読みは100首読む(厳密には99首まで)

(2)自陣の札を0枚にすれば勝ち。相手陣の札をとった場合・相手がお手付きをした場合は、1枚相手に送り、自陣の札を減らしていく。

(3)札を並べる範囲

縦24cm(3段以内、各段の間1cm)×横87cm(これを「競技線」といいます)相手陣と自陣の間に3cmあける

(4)上の句が読まれるまで利き手は自陣下段より後方の畳に接していること

(5)札に触れるまたは、競技線より外に札を出すことで取りが成立する

## 4. 競技かるたのあれこれ

(1)かるた人口は？

公称100万人とっていますが、これは学校の授業等で少しでも百人一首に接したことがある、というレベルまでカウントしていますので、実際は数十万人、といったところかと思います。

(2)競技会の数、大会参加人数

(一社)全日本かるた協会が主催する全国大会は、昨年度で48大会。ほぼ毎週1回は大会が開催されている、という計算になります。7、8、9月はシーズンオフになりますが、中学、高校、大学それぞれの全国大会が開催される時期でもあります。

昨年度、全国大会のべ参加者数は21,478人でした。

(3)級・段位制度

上級者をA級とし、以下、B級、C級、D級、E級と実力に応じてクラス分がされています。初心者はE級からスタートし、一定の基準での成績をおさめることにより、D級、C級と昇級していきます。B級で優勝するか、準優勝2回でA級へ昇級できます。

上記のクラス分けに対応して、初段から10段まで段位があります。C級で出場するためには初段を取得する必要があります。同様に、B級は2段。B級で3位入賞すると3段の資格が得られます。そしてA級には4段取得が必要です。5段以上はA級で出場した成績により、一定数の入賞、勝ち数等で昇段資格が取得できます。

(4)競技の服装

公式試合は和装になりますが、まだ全部の主催大会までには強制できておらず、Tシャツ、ジャージという姿での出場風景もまま見られます。

## 5. 競技かるたの魅力

最後に、競技かるたをやって何が面白いの？ということについて、私の個人的意見ですが、お話しさせていただきます。

まずは、日本の伝統文化である百人一首の伝承の一翼を担う、という思いがあります。5・7・5・7・7という音の調べとともに、名歌アンソロジーとしての「小倉百人一首」という日本の古典を、かるた取りというゲームを通してはありますが、伝承していく役割を担っている、と自負するものです。

しかし、何よりは、本日お話ししてきたように、競技かるたを取るという、その世界そのものが楽しい、ある意味快感である、ということです。

個人競技ですから、勝った、負けた、というところに楽しさ・悔しさもありますが、私自身はそれ以上に、いかに1枚を速く、またきれいに取るか、ということにこだわり、今日はこの札が理想的に取れたな、この札は駄目だったな、と次への挑戦につなげていきます。また、無心になって、1枚1枚取ることに集中することにより、日常の雑事・ストレスから完全に解放され、試合(練習)を終えると、何ともいえないすがすがしさを感じることができます。

以上のように、負けると悔しい、という気持ちもありますが、試合(練習)をしたこと自体が快感になっています。暗記のために頭をフルに使い、札を取るために運動神経を使い、そして1枚ごとに集中する、という繰り返して、それはそれでしんどい、というところもありますが、やはりこれが好きなのでね。

なかなか伝えきれないですが、こういう競技ですから、私は40年以上続けてこれたと思いますし、これからできる限り続けていこう、と思うのです。

## 来週の近藤ガバナー公式訪問予定

8月18日(月)	知多RC/豊田三好RC
8月19日(火)	名古屋千種RC/名古屋名南RC
8月20日(水)	豊橋東RC
8月21日(木)	名古屋東山RC
8月22日(金)	豊橋ゴールデンRC

## 例会のご案内

■今週 8月14日(木) 規定に基づき休会

■次週の卓話 8月21日(木)

会員卓話：高村博三さん

テーマ：生涯の友を求めて

■次々週行事 8月28日(木) なごやか例会

時間：18:00~20:00

場所：ヒルトン名古屋4F「桜の間」